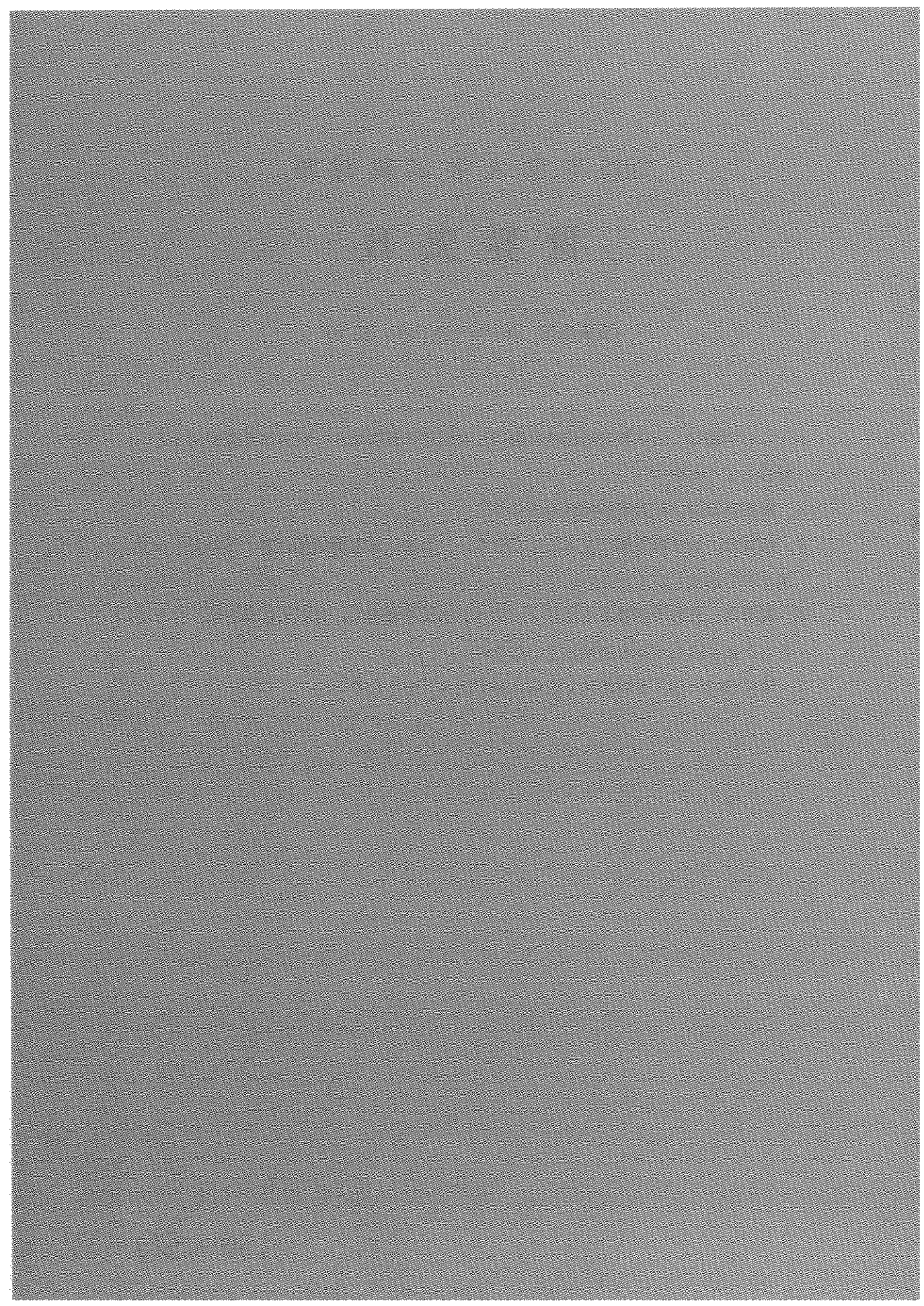


2015 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 14:50~15:50 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。



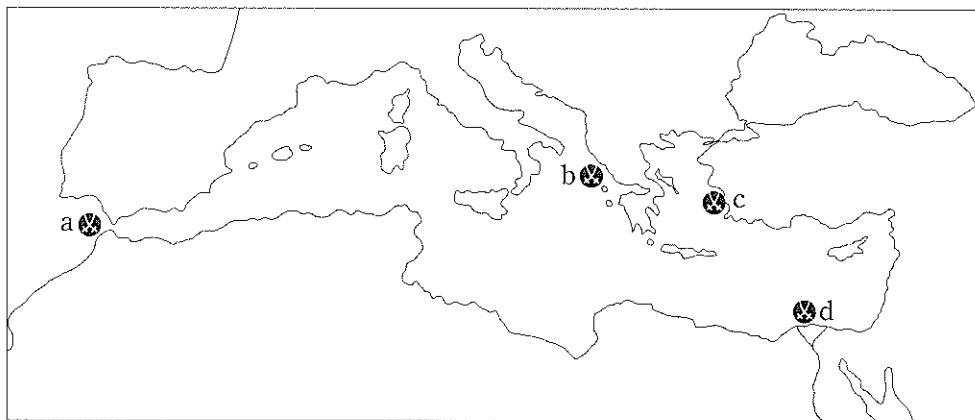


Ⅰ エジプトやシリア・パレスチナ地域に関する次の短文（1～5）を読み、下線部（1）～（10）について下記の【設問】に答え、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。（20点）

1. エジプトでは、紀元前3千年頃、上エジプトと下エジプトを統一する王国が現れた。その後1千年以上もの間、エジプト内部での王朝交替は幾度となくあったが、シリア・パレスチナ方面から人々が移動して来るまで、外部勢力の支配を受けること<sup>(1)</sup>とはなかった。これらの移動して来た人々は、前17世紀中葉、ナイル川デルタ地帯に王国を築き、新王国によって退けられるまで、およそ100年の間その地を支配した。これ以降、新王国時代の王たちは、シリア・パレスチナ地域を統治下におく<sup>(2)</sup>ことを目的に、度々東方へ軍事遠征を行った。
2. 前14世紀中葉、アメンホテプ4世は、エジプトの神々の中で最も重要な位置を占めるアモン神や死後の世界を司るオシリス神、および、その他の神々を排除し、太陽神を唯一の神と宣言して信仰の改革を推進した。<sup>(3)</sup>当時の美術<sup>(4)</sup>には、その教義が色濃く反映している。
3. 『旧約聖書』には、ダヴィデ王がパレスチナの地に統一王国を築き、その王国は、子ソロモンの時代にたいそう栄えたという物語が収められている。しかし、繁栄は長く続かず、ソロモン王の死後、王国は二つに分裂し、北の王国は前8世紀に、南の王国は前6世紀に滅亡した。<sup>(5)</sup><sup>(6)</sup>
4. エジプトおよびシリア・パレスチナ地域は、前7世紀以降、新アッシリア、新バビロニア、アケメネス朝ペルシアの支配下に入った後、前4世紀後半、アレクサンドロス大王<sup>(7)</sup>によって征服された。彼がナイル川デルタ西北部に築いた新しい町アレクサンドリア<sup>(8)</sup>では学術の大いなる発展があった。
5. アレクサンドロス大王の死後、エジプトはプトレマイオス朝の支配下にあったが、前31年、エジプトの女王クレオパトラがアントニウスとともにアクティウムの海戦<sup>(9)</sup>でオクタウィアヌスに破れ、ローマの属州となった。アウグストゥスの称号を得たオクタウィアヌスは、ウェルギリウスのローマ建国叙事詩<sup>(10)</sup>の中で、ローマを建国した英雄の末裔に連なるとされている。

【設問】

- (1) この移動して来た人々を何というか。
- (2) 前13世紀前半にシリア北部のカデシュでヒッタイトと戦い、戦いの後ヒッタイト王と講和条約を結んだ新王国時代の王は誰か。
- (3) アメンホテプ4世が唯一の神としたこの太陽神を何というか。
- (4) これは、伝統様式にとらわれない写実的な美術とされる。この美術を何というか。
- (5) この王国を何というか。
- (6) この王国を何というか。
- (7) プルタルコスは、アレクサンドロス大王やその他のギリシア・ローマの英雄的人物の生涯を描いた著作を残した。この著作を何というか。
- (8) アレクサンドリア東方の地点ロゼッタで発見された碑文は象形文字解読の出発点となった。この解読に成功した人物は誰か。
- (9) アクティウムの海戦が戦われた場所を地図中のa～dから1つ選びなさい。



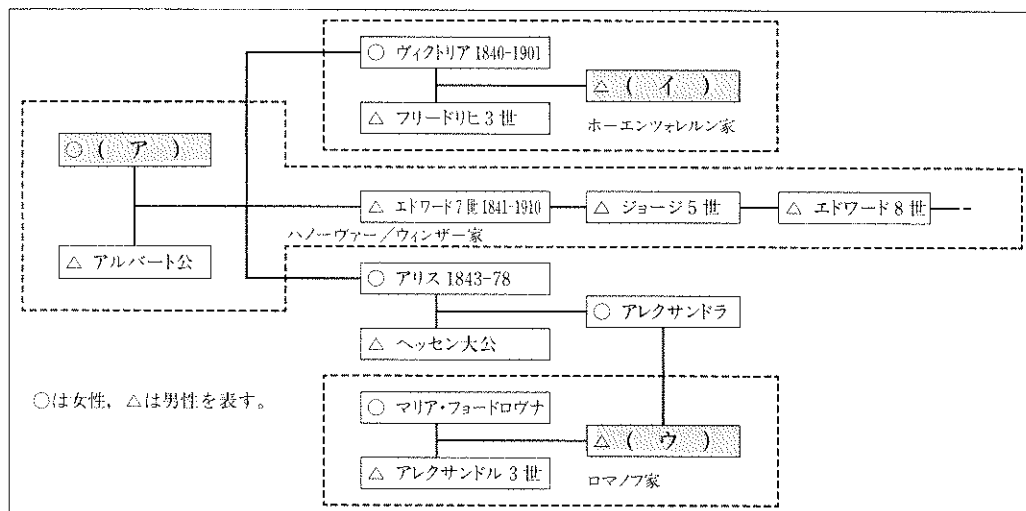
- (10) この叙事詩を何というか。

II 次の短文（1～8）は、19世紀後半から20世紀初頭までのヨーロッパ各国で起きた出来事について述べたものである。空欄の（ A ）～（ H ）に適切な語句を入れ、また下記の【設問】に答えて、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。（30点）

1. ボスニアの（ A ）を訪問中の帝位継承者夫妻が暗殺されたため、その一カ月後にセルビアに対して宣戦を布告した。
2. 革命運動が高まる中、皇帝は（ B ）の起草した十月宣言を発して国会（ドゥーマ）の開設を約束し、彼を首相に登用した。
3. アジア各地でロシアとの対立が深まると、「光栄ある孤立」というこれまでの外交方針を転換して（ C ）同盟を締結した。
4. サン＝ステファノ条約の締結によってヨーロッパに緊張が生じると、宰相は首都の（ D ）で会議を開催して列強の利害を調整した。
5. 国際共産主義運動の中心組織として（ E ）が創設された。第三インターナショナルとも呼ばれるこの組織は、世界革命の推進を目指した。
6. フランスが（ F ）を保護国化しようとする時、これに異議を唱えて軍艦をアガディールに派遣したが、試みは失敗した。
7. ユダヤ系軍人の（ G ）がスパイ容疑で告発された。この冤罪事件<sup>えんざい</sup>に際しては、作家のエミール・ゾラが軍部糾弾の論陣を張った。
8. 第二次（ H ）内閣の時には第三回選挙法改正が行われ、農業労働者層にまで選挙権が拡大した。

【設問】

- (1) 次の系図は、当時の主要な王室間の姻戚関係を示したものである。系図中の (ア) ~ (ウ) に該当する人名をそれぞれ答えよ。



- (2) 系図中の (ア) ~ (ウ) の統治国に該当し、なおかつその在位期間中に起こったものをそれぞれ短文 (1 ~ 8) から選び、短文の番号で答えよ。
- (3) 短文 (1 ~ 8) の出来事を年代の古い順に並べ替えた場合、4 番目になるものを短文の番号で答えよ。

Ⅲ 次の文章を読み、下線部(1)～(9)について下記の【設問】に答え、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。(20点)

漢王朝の皇帝は劉氏、そのあとに劉氏が建てた王朝もたいてい「漢」と称した。後漢が倒れた<sup>(1)</sup>あと、魏は曹氏、呉は孫氏、蜀は劉氏によって建てられ、三国が分立した。魏は「曹魏」とも呼ばれ、蜀は漢帝室の子孫であると称したため、正式には「漢」と称した。<sup>(2)</sup>中国の各王朝には、このように王朝の名称のほか、その王朝を建てた家(帝室)の姓をとった国姓があった。

魏から政権をゆずりうけた晋は司馬氏、これが江南に移ったのちは東晋、それ以前<sup>(3)</sup>は西晋と呼ばれている。東晋のあとは劉氏の宋、蕭氏の齊、同じく蕭氏の梁、<sup>(4)</sup>陳氏の陳と興亡をかさねた。いわゆる南朝である。

北方では五胡十六国が興亡した。その中で、苻氏の前秦は華北統一の勢いを一時期示したが、東晋に敗れて衰退した。そのあとをうけて台頭した姚氏もまた秦と称した。これは「後秦」と呼ばれ、別に「姚秦」とも称される。五胡十六国の時代のあと、北方を統一した北魏は拓跋氏が建てたので、「拓跋魏」とも呼ばれる。北魏のあとは拓跋氏<sup>(5)</sup>の東魏・西魏、高氏の北齊、宇文氏の北周の諸王朝が興亡した。これを北朝といい、その間に創行された制度の多くは楊氏の隋、李氏の唐へ引き継がれた。<sup>(6)</sup>

唐王朝を建てた李氏は、家系を飾るために老子を先祖とした。老子は李氏と伝承されていたからである。唐末の大農民反乱を経て、五代十国の時代に突入する。<sup>(7)</sup>五代とは朱氏の後梁、李氏の後唐、石氏の後晋、劉氏の後漢、郭氏の後周である。唐末五代の混乱を収めて、天下統一を遂げたのは趙氏の宋王朝である。宋王朝は北方の金の攻撃<sup>(8)</sup>をうけて南渡したため、北宋時代と南宋時代とに分かれる。

南宋がモンゴルに滅ぼされたあと、中国は元王朝に支配されるが、その元王朝を倒したのは朱氏の明王朝である。創始者である朱元璋は最下層の出身であり、旧来の名族と関係づけをすることはなかったが、それでも天下をとれば、その権威は絶対となり、その国姓を賜る<sup>(9)</sup>ことはなほだ名譽なこととなった。



【設問】

- (1) 後漢が倒れる一因となる農民反乱を指導した太平道の教祖は誰か。
- (2) この王朝は蜀のどの都市に都を置いたか。
- (3) 中国の王朝交替には、魏晋のように政権をゆずりうける禅譲と、殷周のように武力による放伐の二通りの形式があった。このような王朝交替を漢字4字で何と  
いうか。
- (4) 梁武帝の長子昭明太子が古典文学の粹を集めて編纂した詩文集は何というか。
- (5) a. 北魏の都平城（現在の大同）の西郊では多くの石窟寺院が造営され、数多  
の仏像が開削された。平城西郊のその石窟寺院を何というか。  
b. この時代は道教も力を持った。北魏の道教を大成し、太武帝に重用され、  
道教の国教化を推進した道士は誰か。
- (6) 北朝創始になる諸制度の中で、北魏の孝文帝が制定した村落制度は何というか。
- (7) この時代、北方でも中国から離反して独立する勢力が生まれた。諸部族を統一  
して遼王朝を建てた契丹は、やがて南下して、長城以南の一部地域を後晋から得  
た。この地を何というか。
- (8) 宋王朝の政治スタイルは五代時代と異なって文治主義をとり、節度使の兵力は  
中央軍に改編し、皇帝直属の親衛軍とした。その親衛軍を何というか。
- (9) 明王朝滅亡後、その復活を目指して、台湾を拠点に清王朝に抵抗し、明の遺王  
から朱姓を賜り、国姓爺と呼ばれたのは誰か。

IV 次の文章を読み、下線部(1)～(10)について下記の【設問】に答え、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。(30点)

広域的な文明圏の形成に伴い、世界の各地において諸記録の集大成が進行し、広範な地域を俯瞰した歴史叙述が生み出された。<sup>(1)</sup> その中には、歴史に一定の法則性を見いだす議論も<sup>(2)</sup>あったことが知られている。やがて、ヨーロッパ人の世界進出<sup>(3)</sup>によって地理的な知見が増大すると、一つの筋書きに従って全人類の歴史を物語ることも試みられるようになっていく。とくに有名なのはドイツ観念論を大成した哲学者の<sup>(4)</sup>それで、人類の歴史は君主ただひとりが自由である東方のアジアからはじまり、一部の者が自由であったギリシア・ローマを経て、すべての者が自由なゲルマンへと、精神の自由が発現していく過程こそが世界史なのだ<sup>(5)</sup>とした。さらに、19世紀西欧の経済発展が一方で社会矛盾を増大させると、人間社会に共通の発展過程を想定し、資本主義の没落を歴史的必然と唱えるマルクス・エンゲルスの歴史観<sup>(6)</sup>が力をもつようにもなった。

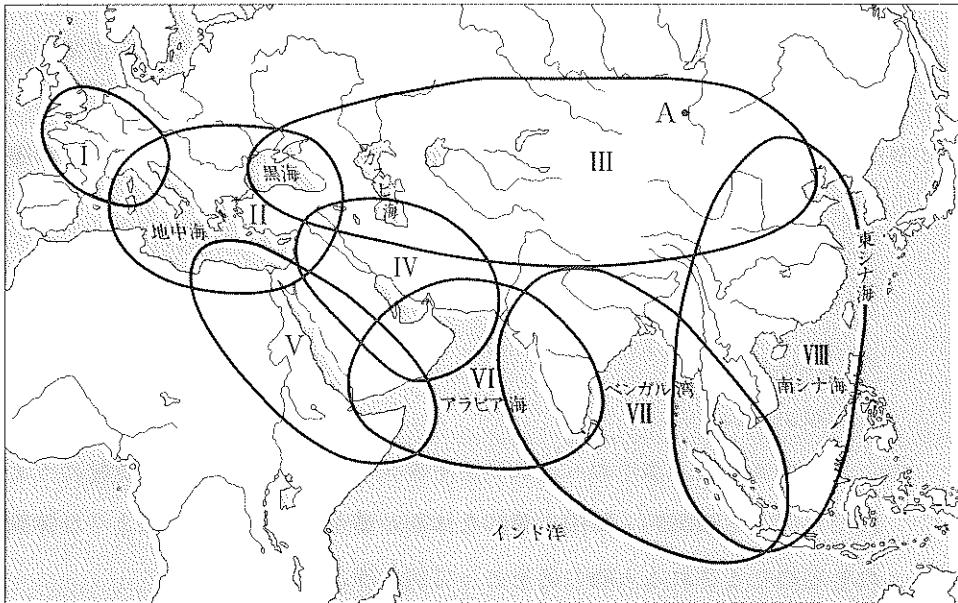
世界史を一つの物語として、それじたいに目的や終着点を見いだす語り口は現在も<sup>(7)</sup>みられる。片や、文化の多様性・多元性を重視する立場からは、世界をいくつかの地域に分け、その歴史を相互に比較したり、地域間の関係から歴史を説明したりする学説<sup>(8)</sup>も現れるようになった。そうした議論が深まるにつれ、今日では、かつて根強かったヨーロッパ中心主義の相対化が進むとともに、人口動態や自然環境・気候変動<sup>(9)</sup>など、新しい視点に立った世界史の叙述も盛んになりつつある。<sup>(10)</sup>

【設問】

- (1) 前漢時代に司馬遷によって編纂された『史記』も、その一つである。司馬遷が『史記』において用いた、帝王の事績と人物の伝記を中心とする歴史書の記述形式を何とというか。
- (2) 都市民と遊牧民の関係が歴史に規則的な展開をもたらすことを説いた、イブン=ハルドゥーン<sup>(9)</sup>の著作を何とというか。

- (3) a. ヨーロッパ人は、世界各地への進出の過程で、さまざまな未知の文化に遭遇することとなった。インカ帝国の人々が数量などの記録に用いていた結縄のことを何というか。
- b. 16世紀の東アジアでは、明朝が貿易を規制していたため、進出してきたヨーロッパ人が現地人と結びついて活動する現象がみられた。当時の東アジア海域において私貿易や略奪を行っていた諸集団を、明朝の立場から総称して何というか、漢字2字で答えなさい。
- (4) この哲学者は誰か。最も適当な人名を、下記のア～エのうちから1つ選びなさい。
- ア ランケ  
イ コント  
ウ ヘーゲル  
エ ベンサム
- (5) スパルタでは、多くのヘイロータイやベリオイコイに対する支配のうえに、市民たちによる鎖国的・軍国主義的な体制が築かれていた。このような体制を、それを定めたとされる人物の名をとって何と呼ぶか。
- (6) マルクスやエンゲルスが社会主義思想の基礎とした、このような歴史観を何というか。
- (7) 歴史に目的や終着点を見いだす語りの祖型は、「最後の審判」の思想にあるともいわれる。現世を光明神アフラ=マズダと暗黒神アーリマンとの闘争とし、最後の審判を説いた宗教を何というか。

- (8) 次の地図は、13世紀にみられた遠距離交易による交易システム相互の結びつきを「13世紀世界システム」として重視するアメリカの歴史家ジャネット・アブールゴドが、13世紀世界システム中に見いだした、8つのサブシステムの示意図である。この地図に関連して、下記の問題に答えなさい。



- a. 地図中のAは、第IIIのサブシステムを掌握した帝国が13世紀に築いた都の位置を示している。この都の名を何というか。
- b. 12世紀から13世紀にかけて第Vのサブシステムを支配下におさめた国は、軍人に一定地域の徴税権を与える制度をエジプトに導入した。この制度を何というか。
- c. 第VII・第VIIIのサブシステムにおいて、13世紀末以降にジャワ島を拠点として栄えた王国を何というか。
- d. アブールゴドによれば、13世紀世界システムは、14世紀にペストの流行などの要因によって中央アジアの交易路が閉ざされ、内陸ルートと海上ルートの結びつきが失われたことによって解体したという。ペストは第Iのサブシステムにあたるヨーロッパでも流行し、それが中世末期の死生観にも影響を与えたと考えられている。ヨーロッパ中世末期の死生観を描いた絵として最も適切なものを、次のア～エのうちから1つ選びなさい。

ア



イ



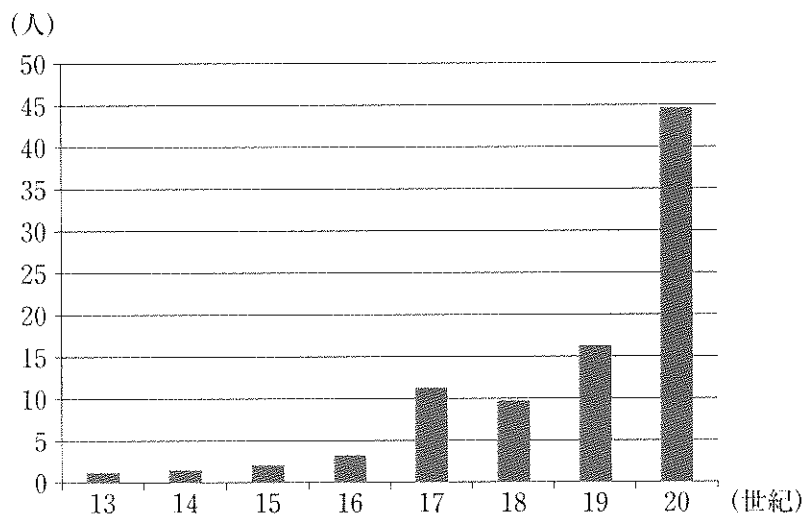
ウ



エ



(9) 次のグラフは、13世紀～20世紀における、人口1千人あたりの戦争による死者数の変動を示したものである（ウィリアム・エックハートの推計値による。20世紀については1990年までの概数）。これによると、17世紀は、その前後の世紀よりも戦争による死者の割合が高いことがわかる。17世紀に起こった戦争や武力紛争について述べた下記の文章ア～エのうち、波線部の正しいものを1つ選びなさい。



- ア アンボイナ事件により、フランスはモルッカ諸島の支配を固めた。
- イ 三十年戦争の講和条約として、カルロヴィッツ条約が結ばれた。
- ウ 英蘭戦争によって、ケープ植民地がイギリスに割譲された。
- エ アッバース1世が、ホルムズ島からポルトガルを駆逐した。

(10) 自然環境の変化や気候変動の要因としては、太陽活動や火山活動のような自然現象だけでなく、人間の活動も無視できない。これに関連して、次の問いに答えなさい。

a. 人間が自然環境に与えた影響について述べた次の文章中の空欄（あ）（い）に入れる語句の組合せとして正しいものを、下記のア～エのうちから1つ選びなさい。

人間の活動が環境に影響するようになるのは、近代以降に限られたことではない。例えば、唐代の詩人（あ）が、征服地を間接統治する役所すなわち（い）に赴くため西域に旅立つ友を見送って、「渭城の朝雨<sup>いじょう</sup> 軽塵<sup>けいじん</sup>を<sup>うるお</sup>浥す」と詠んだ埃<sup>ほこり</sup>っぽい関中の様子は、戦国時代以来の長期間にわたる森林伐採などとも関わりながら生じたものと考えられている。

ア あ—柳宗元 い—都護府

イ あ—柳宗元 い—理藩院

ウ あ—王維 い—都護府

エ あ—王維 い—理藩院

b. 1997年に第3回気候変動枠組み条約締結国会議（COP3）で採択された、温室効果ガスの排出削減の数値目標を定めた文書を何というか。

